

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	リズム南鳩ヶ谷 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2026年 8月 23日 ～ 2026年 9月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年 9月 1日 ～ 2026年 9月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動・音楽・自立活動での小集団活動を主とし、1対1または2対1の個別活動で一人ひとりの支援課題に適した内容を行う。自由遊び時は好きな遊びを通して、相手との関わり方（要求の伝えかた・思いやりの気持ち・一緒に楽しむ気持ち）を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みやすい手順 ・分かりやすい表現 ・成功体験で終わる ・年長児：小学校入学に向け読み書きと道具の使いかたを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動担当者が中心になり、利用児の個別支援計画書の課題を踏まえた内容の計画を行い、職員全体で振り返りをし、継続する。 ・絵カードを充実させ、利用者様にさらに理解しやすい活動内容を行う。
2	保護者の参観と交流会を開催している。年長児3月に卒業発表会を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・参観：日程以外の参観も呼びかけている。 ・交流会：日頃の子育ての不安や悩みを保護者様同士で話をしていただく場にする。スライドショーで職員が活動の説明する時間を設けている。アンケートでニーズの確認をしている。 ・卒業発表会：子どもの成長や頑張りを祝い、保護者同士の結びつきを深める場としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観：アンケートでご家族の感想ご意見をいただき、活動に活かす。 ・交流会：ピアサポート・ストレスの軽減や心理的な安心感をもたらすためのワークの開催・親子参加企画での交流 ・卒業後、鳩フェス（地域向け事業所イベント）で継続した交流の場を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その地域で継続的に特定のこどもと活動する機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能事業所の為、日頃から施設内で異年齢（小学生～成人）の利用者と挨拶し、クリスマス等の行事で交流できている。 ・公園遊びで出会うお子さんとは最低限の交流になる場合が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園からハロウィン交流をご提案いただいた。運動・音楽活動を取り入れた安全で楽しい内容を行い、今後の交流の継続に繋げられるよう先方と相談しながら進める。 ・リズムの事業所間で交流し、子ども同士の継続的な交流活動を行う。
2	ペアレントトレーニングを行っていない。	ペアレントトレーニングの実施についての要望があったが対応できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・川口市（行政）で実施しているペアトレを紹介する。 ・家族支援講座の情報提供を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		リズム南鳩ヶ谷 児童発達支援	公表日				令和8年10月25日	
			利用児童数		23	回収数		14
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0		活動に応じて、午前中放課後等デイサービスの部屋も使用します。ウッドデッキは水遊びや砂場遊びで使用しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1		適切な人員配置をしています。利用者様一人ひとりに対して適切な支援が提供できるよう取り組んでおります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	0	個室での支援がどのように行われているかわからないが、部屋に動物のマークや〇〇のお部屋と名前があるとわかりやすいかも。	個別活動で使用している個室に名前はありませんでしたが、子どもがなじみやすい名前をつけるよう検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13	1	0	0	明るく清潔感がある	継続・維持に努めてまいります。
適切な支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0		職員の研修や勉強会を行っております。利用者様の成長段階と特性に合わせた支援ができるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0		集団での活動（運動・音楽・自立）と個別活動を通じて一人一人の課題に取り組む支援を行ってまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	0		個別支援計画書に項目ごとの支援内容を記載しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	1		今後も、楽しみながら活動できる内容を職員全体で取り組んでまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	1	7		近隣の保育園との交流を計画しています。継続して交流できる内容となるよう先方と相談し、進めてまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		契約時に運営規程や利用者様負担等の説明を行っております。ご不明な点がございましたらお気軽にお声がけください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		継続・維持に努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	2	2	半年ごとの支援計画更新の面談だけでなく、月に1度、もしくは2ヶ月ごとにペアトレを行い、相談する機会があってもいいかも。	ご家族からのご相談には都度対応しています。今後、定期的な研修会が開催できるよう努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	1		ご家族からは連絡帳・送迎時に口頭で健康状態をお知らせいただき、共有しております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	1	1	ペアトレがない	ペアレントトレーニングは行っていません。子育てに関する面談はお気軽にお声がけいただけるよう、リズム通信・お手紙でお知らせしてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0	送迎の際に、その日の様子を詳しく教えてください。助かっています。	継続・維持に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	0	4	きょうだい同士の交流は不明	参観日・保護者交流会を実施しています。今年度は親子参加活動を行いました。年に一度の楠フェスでは多くのご家族が来所し、交流されています。今後、祝日にきょうだい参加の活動ができるよう相談してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	1		契約時に説明し、ご家族からのご相談には都度対応しています。ご利用開始後の周知として、定期的なお知らせ（リズム通信・手紙）を行ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		継続・維持に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	0	0		毎月のリズム通信、SNSで活動の様子をご報告しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		継続・維持に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	1	SNSで訓練の様子が載っていました。	契約時にご説明していますが、事業所内に掲示してあるマニュアルをご家族様が来所の際に見ていただき、周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1		施設全体（年2回）と児発（月1回）で避難訓練を行い、連絡帳・リズム通信・SNSでご家族へ報告しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		子どもの安全を確保するための計画について、リズム通信でお伝えし周知に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2	0	1	・そういった状況がないので分からないが、おそらくきちんと説明してくれると思う。 ・説明謝罪はこれですが、けがをさせた子の親への対応が不明でくり返されそうで不安がある。	・事故・怪我が発生した際の職員の対応はマニュアル化されています。ご家族へはまず状況を電話で伝えています。 ・子ども同士の接触による怪我は、いつ・どこで・どのように起きたのかを双方にお話しています。見守りをし、再発防止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0		全ての方に安心感を持ってもらえるよう今後も努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	・たまに行き渋りがあるが、なんだかんだお迎えの車に乗り、楽しかったと帰ってくる ・「今日はリズムに行く日だよ」と話すとうれしそうに準備をしています。	今後も楽しく通所してもらえよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0		支援の充実を職員全体で考え、より良い施設になるよう今後も努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リズム南鳩ヶ谷 児童発達支援		公表日 令和8年10月25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	部屋や外出を使い分け、年齢や特性に応じた少人数活動を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	新規利用を段階的に始め、職員が支援方法を把握できるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	扉の開閉時は、近くにいるこどもの安全を確認している。	扉の安全性と、水への強い関心があるこどもの手洗い場利用を見直す必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		収納場所を確保し、活動空間を整える必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		全職員が改善に関われる時間と仕組みを整える必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者の希望を受け、親子で参加できる制作活動を実施した。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	2週間ごとにケース会議を行い、支援を検討している。	ケース会議の時間をさらに確保する必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		第三者の視点を業務改善へ生かす機会を増やす必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	動画研修、事例検討、児童部門の研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝15分の会議を行い、支援内容を確認している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	気付きを記録し、職員間や翌日の会議で共有している。	支援終了当日の振り返り時間を確保する必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	訪問や電話を通じ、関係機関と相互に状況を共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	就学先へ書面で申し送りし、必要に応じて電話でも確認している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	5		子ども部会で研修を受ける機会があった。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	散歩や公園利用を通じ、地域の人と挨拶を交わしている。	地域のこどもと直接交流できる機会を設ける必要。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		事業所以外（行政・埼玉県発達障害総合支援センター等）の家族支援講座の情報提供を行っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	事業所行事で、家族同士が交流できる場所を設けた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	通信、会員制交流サイト、保護者交流会で活動を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	地域の人にも事業所行事を案内している。	
非常 時等 の対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に健康や服薬等を記入する用紙を渡し、情報を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	現在、医師の指示所が必要な利用児がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	避難訓練の様子を連絡帳や通信等で保護者へ伝えている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	2週間ごとのケース会議で事例を共有している。	事例に応じた再発防止策をさらに具体化する必要。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		